

# 調査と行動モデル@スマートプランニング

山梨大学 佐々木邦明

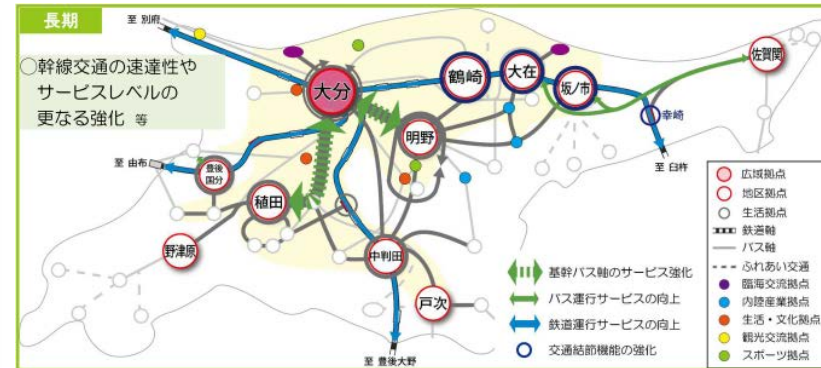
## ● 交通調査@総合都市交通計画

- 交通需要予測は量が重要
- トリップの把握 by PT調査

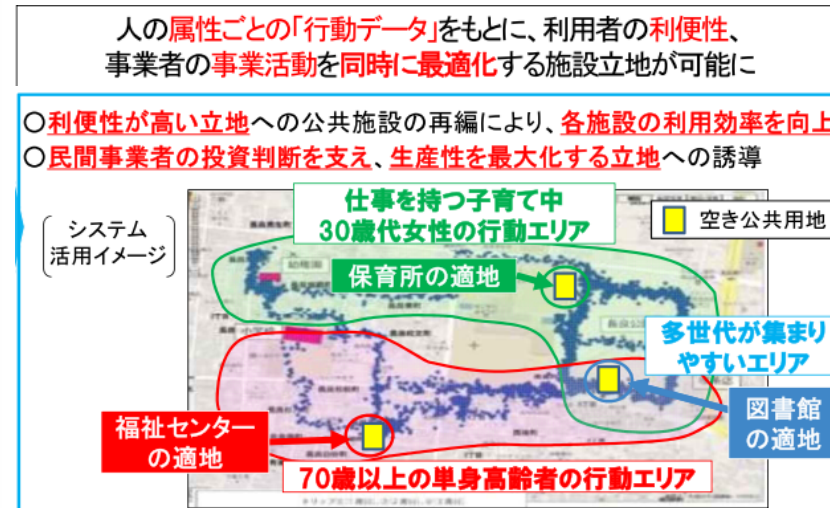
## ● 交通調査@スマプラ

- 移動・行動は個人にとって様々な効果・意味がある
  - ・ 楽しみ/安全/快適などの質的評価
  - ・ 個人の生活の変化との関係性
- 移動・行動は地域の「価値」「活力」「お金」「経済」「健康」「幸福」に影響する

インプット/アウトプット  
/時空間スケール



出典：大分都市圏総合交通計画



スマートプランニングの例

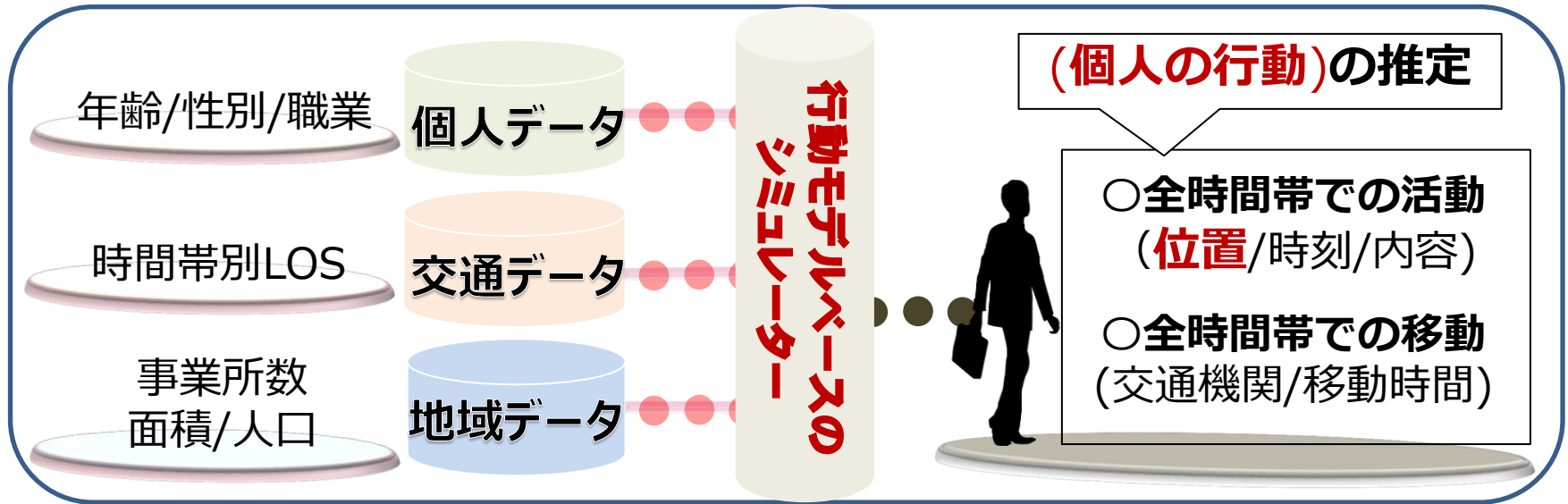
出店：国土交通省

# ミクロな行動特性とスマプラ

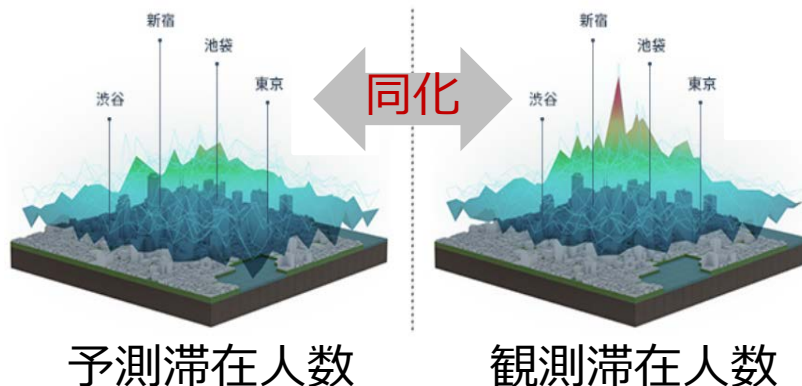
- 自転車の利用はどこへ？
- 椅子を置いたらどれくらい使われる？
- 何人いたら賑わってる？
- 街路歩行者量と建物の用途  
平日・休日とも
  - 複合施設割合
  - 飲食店割合等の変数が有意に相関



# 行動シミュレーターと観測データ



## 大規模・継続的・各種観測データの活用

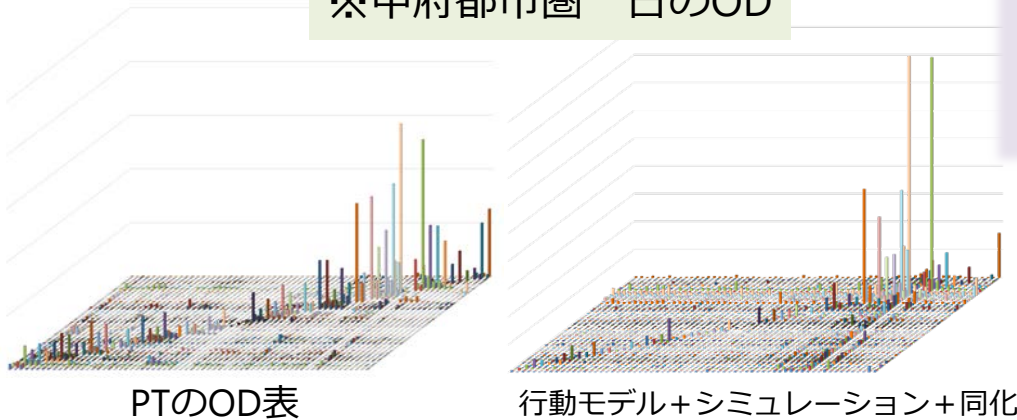


観測データにモデルを当てはめて  
短・中期の精度を確保

行動モデルの特質を維持したまま  
予測の修正を行う

# シミュレーションと 観測データの同化計算例

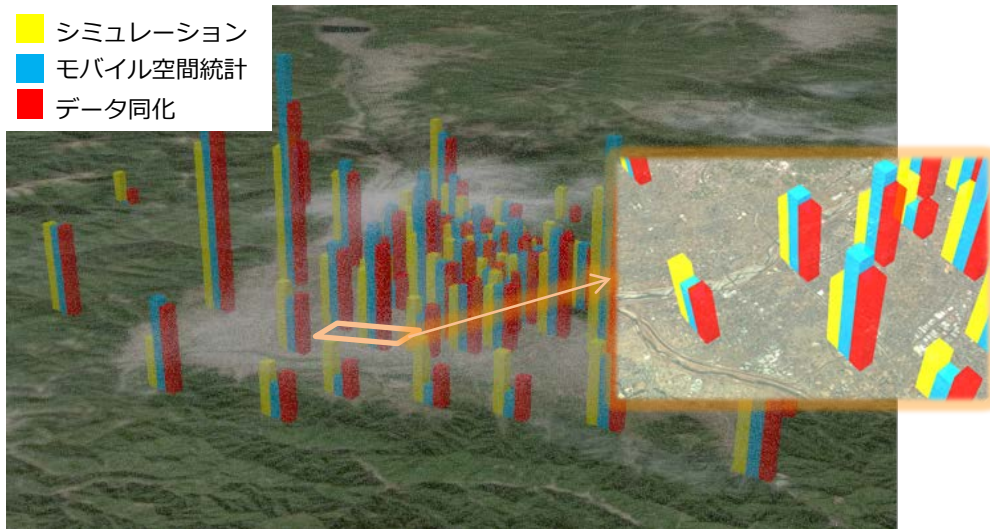
※甲府都市圏一日のOD



PTのOD表

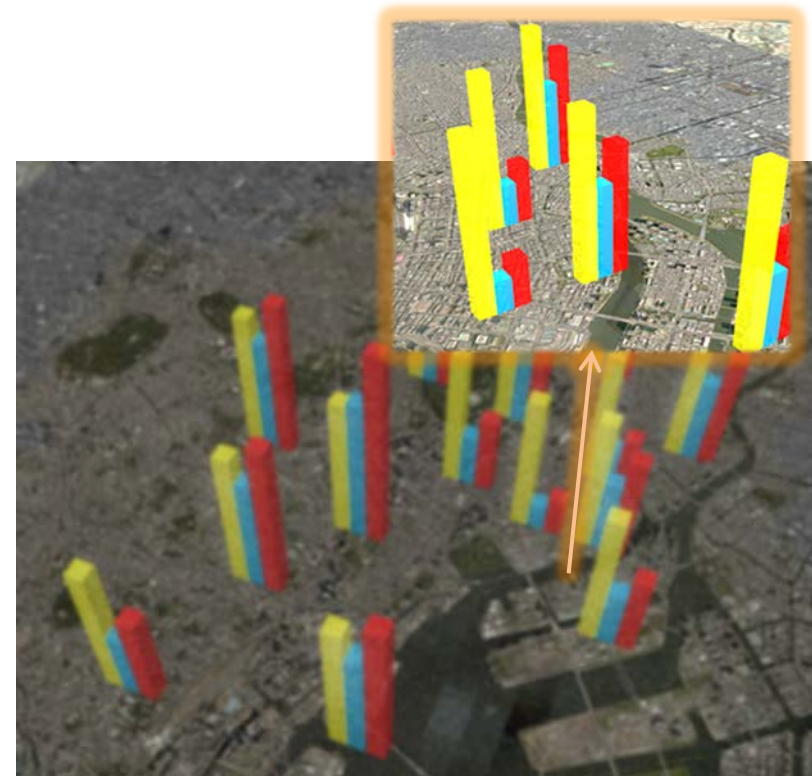
行動モデル+シミュレーション+同化

- シミュレーション
- モバイル空間統計
- データ同化



甲府都市圏の一日のゾーンごとの滞在人数比率

データのスケールがゾーンの事例  
モデル解像度を上げることは可能



東京都心三区の午前ピークの人数